

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわくクラブ（新松戸南校）・児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 10日		～ 2025年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 11月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>個の対応に重点を置き、振り返り等を利用時に丁寧に実施できること</li> <li>個々の課題に向き合う機会が多く持てること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の情報、日々の細やかな様子をスタッフ間で常に共有している</li> <li>スタッフ一人ひとりが自分事として課題に向き合っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要点を絞って情報共有ができるよう工夫していく</li> <li>より細分化した情報共有に努める</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しく療育に取り組めるように環境や支援内容で工夫をし、細やかなニーズに対応していること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室の内装から支援を終えるまで一貫して楽しい雰囲気を提供している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>丁寧なヒアリングを何度も行い、様々な角度からの意見をすり合わせ、ニーズを追求していく</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>人員の定着率の高さから、安心感が得られること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業理念の共有、理解の機会を多く設けている</li> <li>熱意のあるスタッフが多数在籍している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいスタッフの採用及び育成</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種マニュアルや訓練の周知徹底には至っていないこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的な周知の不足</li> <li>各種マニュアル等は文字数が多く、理解が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いつ、誰が見ても分かりやすい掲示の管理</li> <li>読み取りやすい掲示の工夫</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動スペースの確保と人員動線が完全には整備されていないこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>構造的な問題が大きい</li> <li>出入りのためのスペースが限られていて、部分的に混雑することがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて修繕を検討していく</li> <li>ある程度の予測や見通しを立てた上での人員の配置</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族やきょうだいに対する支援の機会が少ないこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個の対応に重点を置くが故に、後手に回っている印象</li> <li>保護者参観等の機会が持てていない</li> <li>茶話会等の頻度が少なくなっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全員が当事者意識を持ち、積極的に家族支援の携わることができる機会を増やす</li> <li>家族やきょうだいへの積極的な介入・声かけの実施</li> </ul>